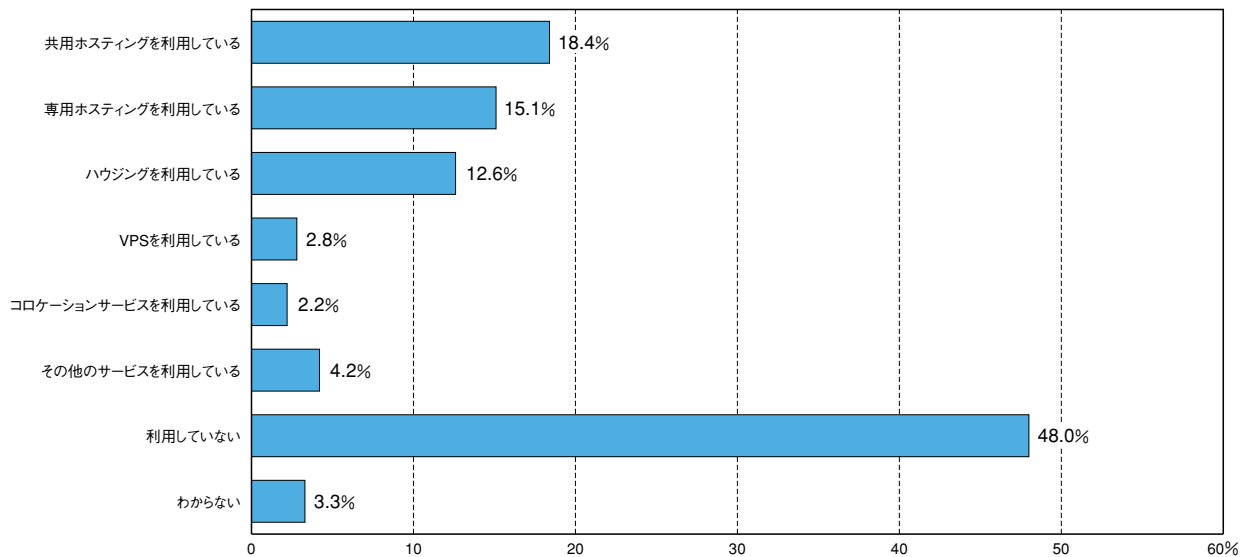


データセンターと
レンタルサーバー

レンタルサーバーと社内運用は半数で拮抗

資料3-3-1 データセンターやレンタルサーバーで利用しているサービス（複数回答） N=1,293



©Access Media/impress R&D,2006

インターネット利用企業のデータセンターやレンタルサーバーの利用率は約半数で、「利用していない」と拮抗している。自社内でサーバーを管理するといった業種もあることから、2005年と同様の傾向となっている。利用しているサービスは「共用ホスティング」、「専用ホスティング」、「ハウジング」と続く。

小規模企業は価格・容量面で共用ホスティングを支持

資料3-3-2 データセンターやレンタルサーバーで利用しているサービス（複数回答） [従業員規模別]

	共用ホスティングを利用している	専用ホスティングを利用している	ハウジングを利用している	VPSを利用している	コロケーションサービスを利用している	その他のサービスを利用している	利用していない	わからない
1-49人 N=428	23.4%	6.3%	2.8%	2.6%	0.2%	2.8%	56.8%	7.7%
50-99人 N=157	33.1%	15.9%	8.3%	5.1%	1.9%	12.1%	33.1%	4.5%
100-499人 N=283	17.0%	16.3%	13.1%	0.4%	3.5%	1.4%	53.0%	0.7%
500-999人 N=125	13.6%	18.4%	20.0%	5.6%	0.0%	6.4%	51.2%	0.8%
1,000-4,999人 N=162	9.3%	22.2%	32.1%	3.7%	7.4%	6.8%	27.8%	0.0%
5,000人以上 N=138	4.3%	27.5%	17.4%	2.2%	2.2%	0.0%	47.8%	0.0%
全体 N=1,293	18.4%	15.1%	12.6%	2.8%	2.2%	4.2%	48.0%	3.3%

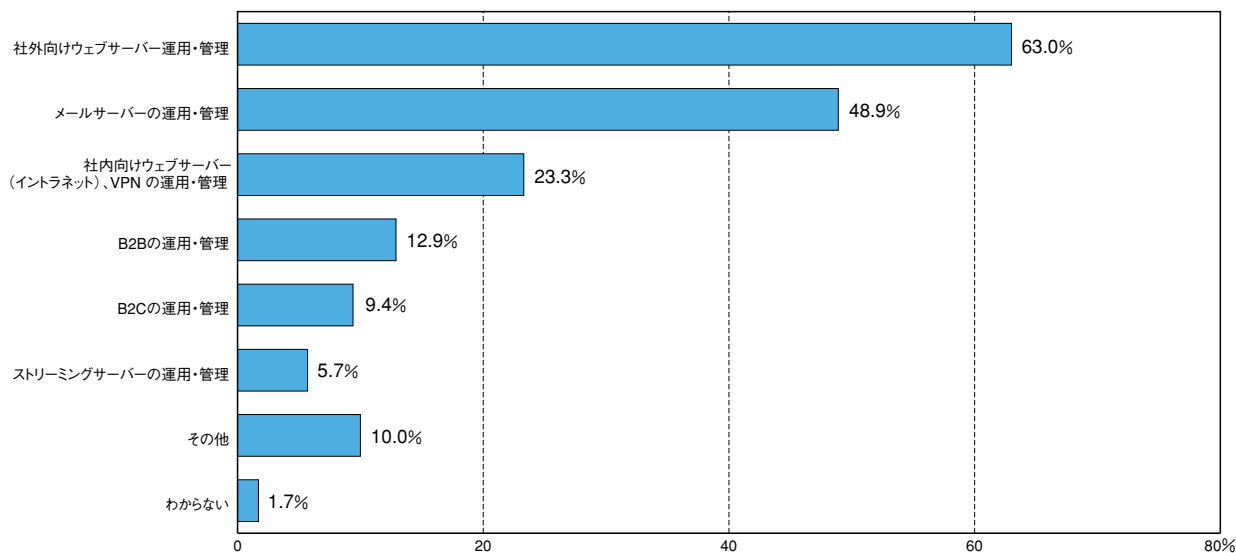
©Access Media/impress R&D,2006

従業員規模別では、50-99人の中小規模や1,000人以上の大規模企業での利用率が高い。また、価格的にも容量的にも融通のきく共用ホスティングの利用は、小規模に支持され、中・大規模では、「専用ホスティング」、「ハウジング」といった事業者が管理、運用を一任するサービスが利用されている。

データセンターと レンタルサーバー

社外向けウェブサーバーが63.0%、メールサーバーが48.9%で利用の中心

資料3-3-3 データセンターやレンタルサーバーの利用目的（複数回答） N=630



©Access Media/impress R&D,2006

利用企業630サンプルにその利用目的を聞いたところ、「社外向けウェブサーバー運用・管理」が最も高く63.0%、次いで「メールサーバーの運用・管理」の48.9%が続く。24時間365日年中無休の監視状況であること、セキュリティ管理などの面から、社内で担いきれない業務の運用を補っていると思われる。

中小規模企業は外部トータルサービスを重視

資料3-3-4 データセンターやレンタルサーバーの利用目的（複数回答）〔従業員規模別〕

	社外向けウェブサーバー運用・管理	メールサーバーの運用・管理	社内向けウェブサーバー（イントラネット）、VPNの運用・管理	B2Bの運用・管理	B2Cの運用・管理	ストリーミングサーバーの運用・管理	その他	わからない
1-49人 N=152	67.8%	61.2%	13.8%	7.9%	9.2%	5.3%	9.2%	0.7%
50-99人 N=98	62.2%	50.0%	14.3%	3.1%	3.1%	5.1%	4.1%	2.0%
100-499人 N=131	58.8%	42.7%	18.3%	7.6%	10.7%	10.7%	8.4%	3.1%
500-999人 N=60	61.7%	48.3%	23.3%	13.3%	21.7%	0.0%	0.0%	6.7%
1,000-4,999人 N=117	68.4%	39.3%	47.9%	30.8%	7.7%	2.6%	7.7%	0.0%
5,000人以上 N=72	54.2%	48.6%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	20.8%	4.2%
全体 N=630	63.0%	48.9%	23.3%	12.9%	9.4%	5.7%	8.4%	2.2%

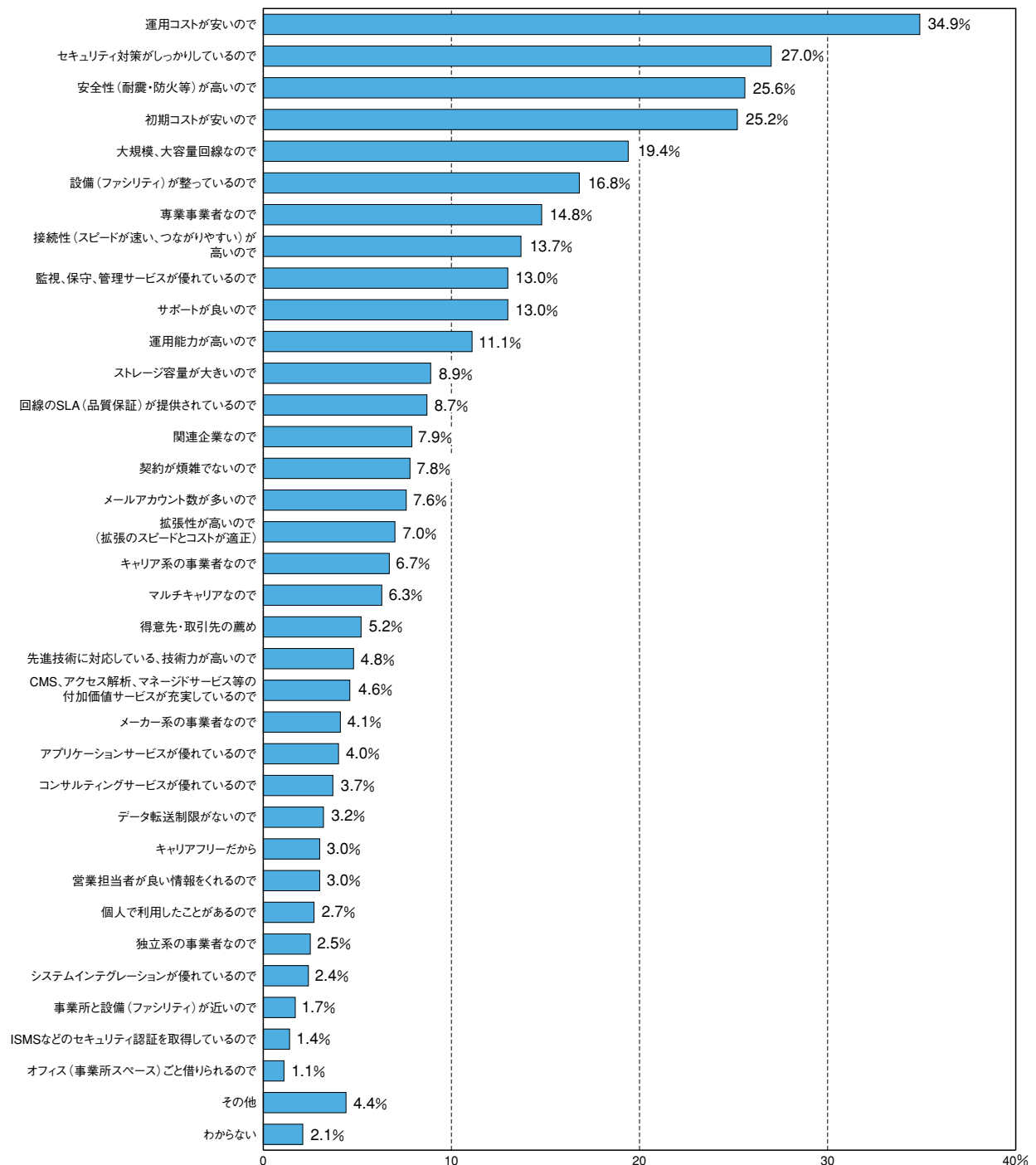
©Access Media/impress R&D,2006

従業員規模別にみた利用目的であるが、「社外向けウェブサーバー」や「メールサーバー」の運用管理については中小規模における利用率が高く、専任の担当者を置かずともシステム構築から監視、運用保守までトータルサービスを提供してくれることなどが、コスト削減につながり、支持されているものと思われる。大規模企業では、「社内向けウェブサーバー、VPNの運用管理」管理、「B2Bの運用管理」に利用されている。

データセンターと
レンタルサーバー

選択理由上位は「運用コストの安さ」、「セキュリティ」「安全性」

資料3-3-5 データセンターやレンタルサーバーの選択理由（複数回答） N=630



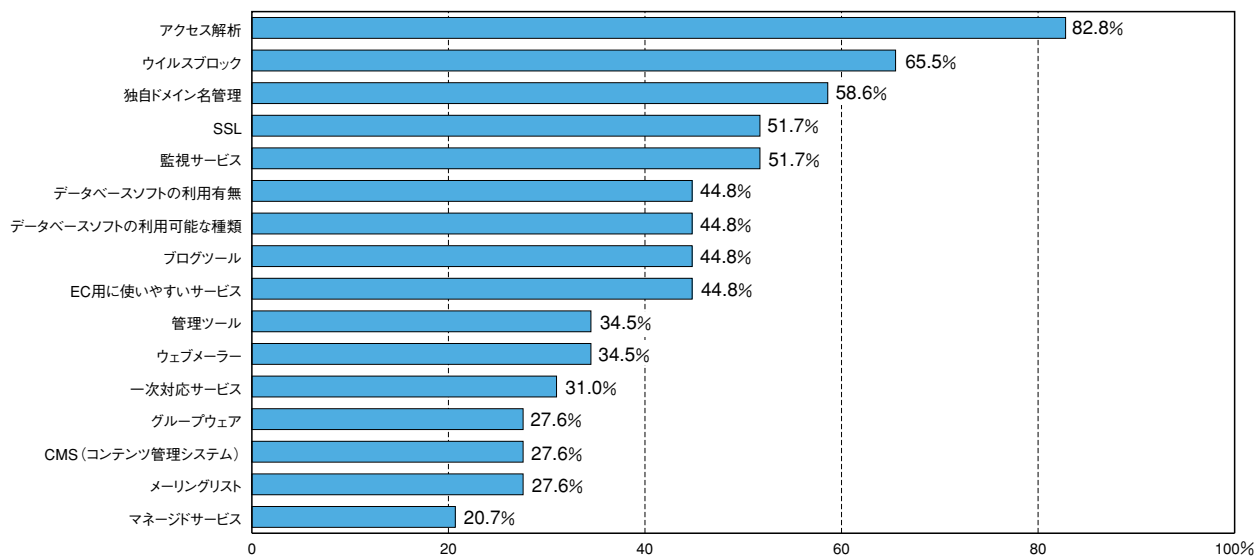
©Access Media/impress R&D,2006

選択理由は「運用コストが安い」が34.9%でトップ。続いて「セキュリティ」「安全性」となる。従業員規模別でみると、小規模では「コスト」の比率が高いが、中・大規模は「セキュリティ」や「安全性」、「専門事業者なので」「設備」「監視、保守、管理サービス」「サポート」といったクオリティを重視している。

データセンターと レンタルサーバー

「アクセス解析」と「ウイルスブロック」が支持される

資料3-3-6 データセンターやレンタルサーバーの評価できる付加価値サービス（複数回答） N=29

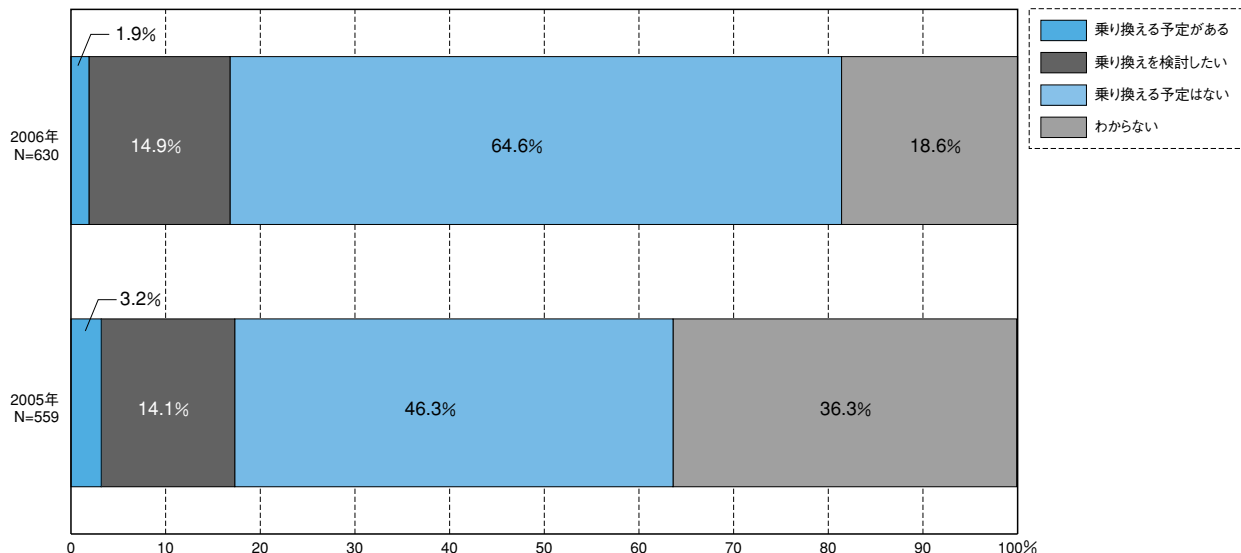


©Access Media/impress R&D,2006

選択理由で「付加価値サービスが充実している」を挙げた回答者29サンプルに対して評価できる付加価値サービスの詳細について聞いた。サンプル数が少数のため、参考程度にとどめていただきたい。「アクセス解析」、「ウイルスブロック」、「独自ドメイン名管理」、「SSL」、「監視サービス」についての評価が高い。

「乗り換える予定はない」が64.6%と、現状に満足

資料3-3-7 データセンターやレンタルサーバーの1年以内の乗り換え予定 [2005年-2006年]



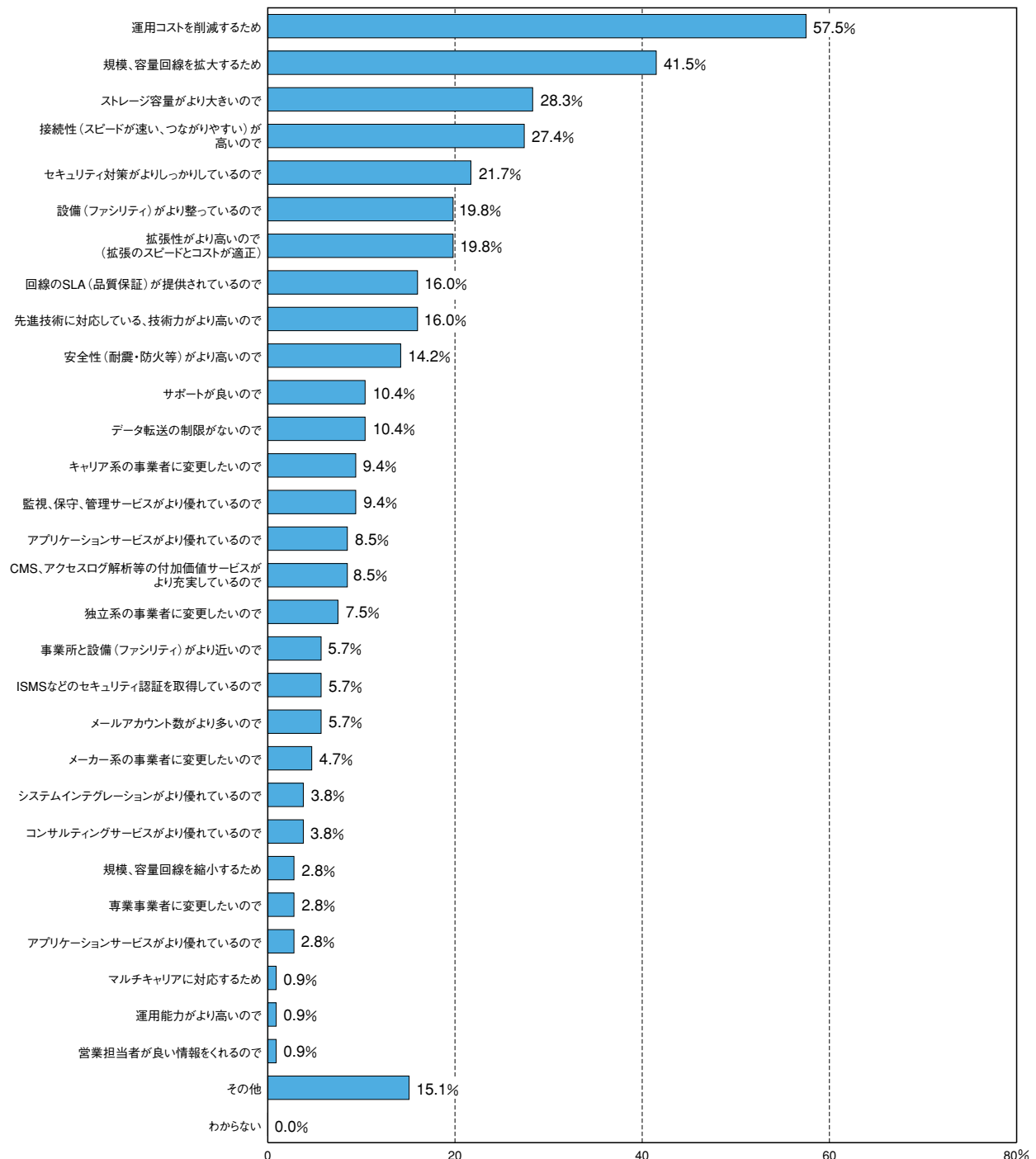
©Access Media/impress R&D,2006

利用企業630サンプルの今後1年以内の乗り換え予定は、現状に満足しているのか「乗り換える予定はない」が64.6%と高い。従業員規模別では、50人以上999人以下の中小規模で乗り換え意向が低い。1,000人以上では「わからない」が高く、今後のサービス内容次第で乗り換え意向が出てくる可能性があるかと推測される。

データセンターと
レンタルサーバー

乗り換え理由も選定理由と同様、「通信コスト」がトップ

資料3-3-8 データセンターやレンタルサーバーの乗り換え予定理由（複数回答） N=106



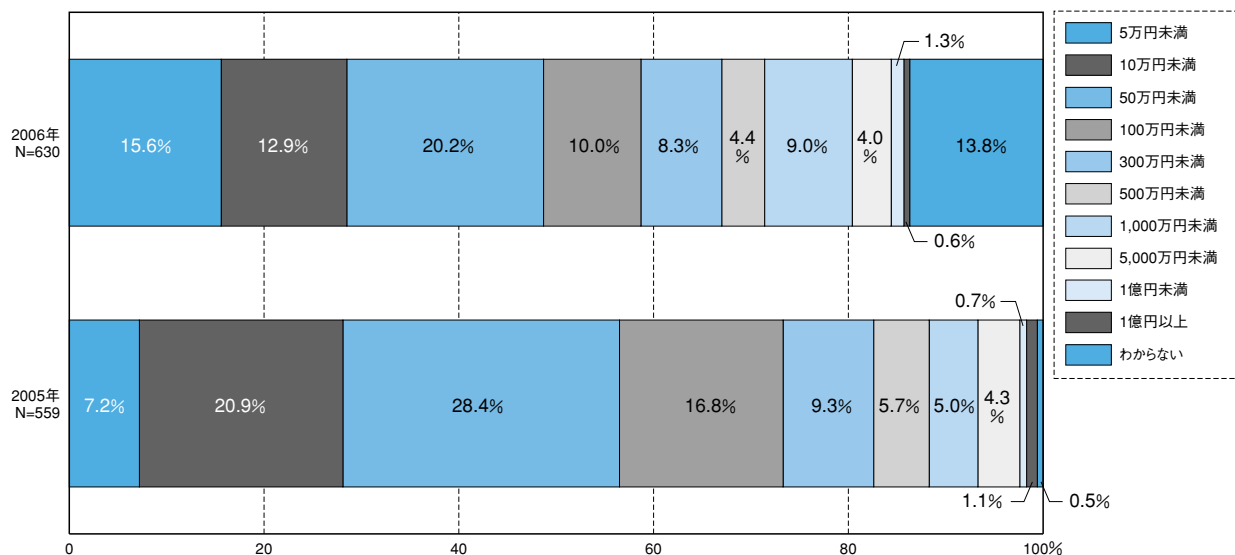
©Access Media/impress R&D,2006

乗り換える予定/検討している回答者106サンプルの乗り換え理由は、選定理由と同様に「コスト」がトップ。「規模、容量回線を拡大するため」も41.5%で高い。社外向けウェブサイトの外部からのアクセス状況やトラフィックの状況により利用企業の要望が変わるため、提供側は多彩なオプションを揃える必要がある。

データセンターと レンタルサーバー

年間「50万円未満」が20.2%、利用コストは2005年より抑え気味

資料3-3-9 データセンターやレンタルサーバーの年間利用コスト [2005年-2006年]

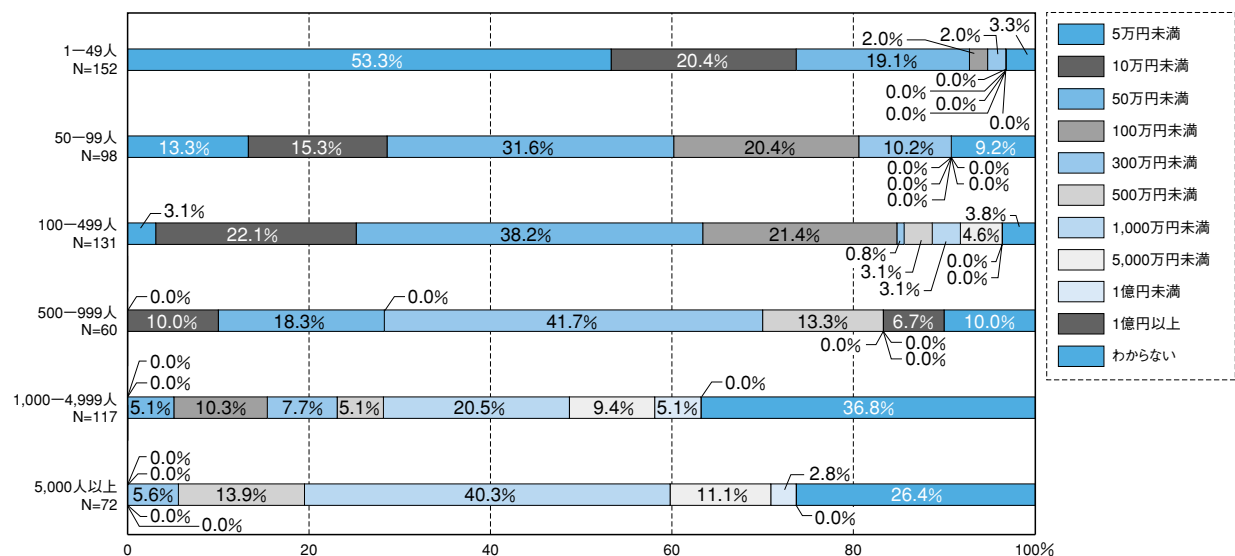


©Access Media/impress R&D,2006

データセンター、レンタルサーバーを利用している企業630サンプルの年間利用コストは、「(10万円以上)50万円未満」が最も高く20.2%、「5万円未満」が15.6%と続く。2006年は2005年と比較すると、コスト削減の効果がみられる。

小規模企業は「5万円未満」が53.3%、この影響で利用コストが低めに

資料3-3-10 データセンターやレンタルサーバーの年間利用コスト [従業員規模別]



©Access Media/impress R&D,2006

499人以下までは規模が小さいほど明確にコストも低く、50人以上499人以下では50万円未満が約6割を占める。一方、500人以上になると、他部署・プロジェクトなどでも利用し、年間利用コストを把握していない担当者も多々いると考えられ、「わからない」の比率が高い。ただし、大規模になるほど金額は大きい。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp